

予算委員会 会議録

日 時 令和7年6月23日（月曜日） 午前9時54分 ～ 午前11時29分
場 所 白杵庁舎2階 全員協議会室

出席委員の氏名

委員長 匹田 郁	副委員長 戸匹 映二	委員 平川 幸司
委員 甲斐 尊	委員 安東 鉄男	委員 芝田 英範
委員 河野 巧	委員 川辺 隆	委員 匹田久美子
委員 伊藤 淳	委員 梅田 徳男	委員 広田 精治
委員 奥田富美子	委員 大塚 州章	委員 武生 博明
委員 吉岡 勲	委員 牧 宣雄	

オブザーバー

議長 内藤 康弘

欠席委員の氏名

（ な し ）

説明のため出席した者の職氏名

政策監（総務・企画担当）	安東 信二	政策監（市民担当 兼福祉保健担当）	柴田 監
政策監（インフラ担当）	高野 裕之	政策監（産業担当）	姫野 敬一
教育次長兼教育総務課長	佐藤 忠久	消防本部消防長	中尾 敬
総務課長	佐世 善之	財務経営課長	吉良 猛
秘書・総合政策課長	望月 裕三	地域力創生課長	藤本 健次
市民生活推進課長	川辺宏一郎	環境課長	麻生 幸誠
保険健康課長	川辺みさご	福祉課長	大戸 敏雄
都市デザイン課長	広瀬 隆	産業観光課長	山木 哲男
農林振興課長	竹尾 智明	学校教育課長	新名 敦
学校教育課参事	高田 教一	社会教育課長	那賀 啓史
文化・文化財課長	日高 昌幸	消防本部総務課長	廣戸 隆宏
消防本部警防課長	庄司 哲宏	その他関係職員	

出席した事務局職員の職氏名

局長 林 昌英 次長 小嶋 佳希 主幹 原 伸行 書記 工藤真里子

傍聴者

(記者 1名)

会議に付した事件及び審査結果

番 号	件 名	審査結果
第 4 3 号	令和 7 年度白杵市一般会計補正予算 (第 1 号)	原案可決

午前 9 時 5 4 分 開議

○委員長 (匹田 郁)

皆さん、おはようございます。定刻よりも少し早い時間となっておりますが、全員おそろいのおようですので、ただいまから予算委員会を開催いたします。

傍聴については、傍聴の申出がありましたが、本人が遅れておりますのでそのうちに来ると思います。皆さんご了承ください。

これより議事に入ります。本委員会に付託されました議案は 1 件であります。本日の委員会は、お手元に配付しております委員会次第により進行いたします。一般会計の説明と質疑終了後に、討論・採決を行いますのでよろしくお願いいたします。

また、質疑及び答弁を行う場合の挙手については、徹底をお願いいたします。さらに私語については慎むようお願いいたします。

それでは、第 4 3 号議案 令和 7 年度白杵市一般会計補正予算第 1 号を議題といたします。

まず、消防本部の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎消防長 (中尾 敬)

おはようございます。消防長の中尾です。令和 7 年度 6 月補正予算に係る消防本部所管分について、担当の廣戸総務課長より説明をさせていただきます。

◎消防本部総務課長 (廣戸隆宏)

(令和 7 年度 6 月補正予算重点事項説明資料に基づき説明)

○委員長 (匹田 郁)

以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（奥田富美子）

配信されるLINEの内容ですが、消防団員に向けてのLINEが市民に同じように内容として流れるというイメージでよろしいでしょうか。

◎消防本部警防課長（庄司哲宏）

奥田委員のご質問ですけど、LINEの内容ということで、委員のおっしゃったように、職員向け、団員向けに配信しております内容とほぼ同じでございます。具体的には、発生場所と注意喚起と地図を表示するようにURLを表示するようにしております。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（河野 巧）

消防火災メール、問合せ等の関係で、LINEでお知らせするような形をとったのかなと思うんですけども、内容的には奥田委員が言われたように、消防団員にも違うメールがあると思うんですけども、消防団員も受信できるようになるのか、それとも、要は登録さえすれば市内市外の方まで見ることは可能なのかのご説明をお願いします。

◎消防本部警防課長（庄司哲宏）

河野委員のご質問にお答えいたします。委員のおっしゃるように、消防団員の方が受信しているメールと今度別にLINEの登録もしていただければ、市内、市外の方問わずに登録者には全員に配信できるようになります。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

（ 「なし」 の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で消防本部の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。暫時休憩いたします。

午前10時00分 休憩

午前10時01分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

次に、総務・企画関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎総務課長（佐世善之）

（ 令和7年度 6月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎秘書・総合政策課長（望月裕三）

（ 令和7年度 6月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎地域力創生課長（藤本健次）

（ 令和7年度 6月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎市民生活推進課長（川辺宏一郎）

（ 令和7年度 6月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明は終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は、挙手をもってお願いいたします。

○委員（河野 巧）

幾つかあるので1つずついきます。歳出ナンバー1番、移動市役所車両導入事業ということで、もう少しこの車両でどういうことができるのかの説明といつから使用予定なのか、維持費はどういうふうに計上予定でしょうか。お願いします。

◎総務課長（佐世善之）

河野委員の質問にお答えいたします。導入できる事業については、先ほど例で申し上げましたけども、マイナンバーカード更新とか住民票はコンビニでもとれるんですけども、コンビニも遠くの方がいらっしゃると思いますので、その地域に行って様々な事業ができるようにしたいと思っているんですけど、まだなかなか列挙できていない状況でございます。

いつからということになりますと、こちらについては、移動車両が特殊車両になります関係から、その購入をまずする必要がありますので、年度内には実施をしたいと思っておりますけども、納入の期限が分かりませんので、実施時期の詳細は分かりません。以上です。

○委員（河野 巧）

想定される維持費を今年度は、3月ぐらいに補正をかけるのかと、あと車両でできることなんですけども、市民から要望があったら、ここまで届けてほしいと言ったら、その都度応えるような形をするのか、それとも各地域で、毎月この日は車が来ますよという、購入した後どういう形で利用していくかというのを説明お願いします。

◎総務課長（佐世善之）

河野委員の質問にお答えいたします。まず維持費ということですが、これは一般的な車両の維持費ということで保険料、燃料費です。あと若干の修理代、特殊的な設備がありますから故障の関係の修繕料ぐらいだというふうに思っています。

あと移動の部分で、届けるのかということですが、こちらについては、お届けするというよりも日程を決めまして、例えば、佐志生地域には6月いつ行きますよ、というようなことで日程をまず決めて、各地域にお邪魔しようというふうに思っております。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませつか。

○委員（奥田富美子）

2点お願いします。歳出の2番コンサルタント制度のところですが、専門的な事案ということなんですが、今、どんなところがあるのかということと、どういう方が指導されるのかと、指導や助言を受ける側はどういう方々になるのかをお願いします。

それともう1点が、4番のコミュニティ助成事業のところですが、具体的な事業内容を教えてください。

◎秘書・総合政策課長（望月裕三）

奥田委員の質問にお答えします。コンサルタント業務の想定業務ということではありますが、まず、今想定しておりますのが、防災関係のアドバイスをいただく案件。さらに、産業関係の漁業推進に関してアドバイスをいただきたいというふうに考えております。

先生についてなんですが、これまでも実は市政アドバイザーという制度がございまして、中野前市長のときからアドバイスをいただいていた講師の方に引き続きお願いをしたいというふうに考えております。

受ける側ということではありますが、基本的には市長が任命をするということで、市長ということになりますが、併せて担当課の課長、政策監等がアドバイスをお願いする。そういった形になろうかと思っております。以上です。

◎地域力創生課長（藤本健次）

奥田委員の質問にお答えします。この宝くじ事業ですけれども、事業内容はコミュニティ活動に必要な備品であったり、集会施設等の整備となっております。具体的に3地区の内訳ですけれども、下ノ江地区ふれあい協議会がコミュニティ活動備品の整備として、盆踊り等の活動に使いたいということで、バルーンの照明装置、ぼんぼりセット、テーブル一式となっております。金額が250万円となっております。それから下南地区の振興協議会たていしですけれども、同じように、3世代交流会等のイベントで使用する備品として活用するものですが、金額200万円となっております。同じく、コミュニティの活動整備費であります。

休憩をお願いします。

○委員長（匹田 郁）

休憩いたします。

午前10時13分 休憩

午前10時14分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

◎地域力創生課長（藤本健次）

申し訳ありません。先ほどの奥田委員の質問にお答えします。下ノ江地区ふれあい協議会につきましては、当初予算で計上されておりました。今回6月補正で新たに計上したのは、下南地区と下北地区になります。下南地区の振興協議会たていしにつきましては、主にテント、リアカー等を購入予定としております。それが200万円です。それと、下北地区振興協議会のほうも同じように240万円ということで、ここは音響セットということでテレビジョン、それからこいのぼり等購入予定となっております。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（河野 巧）

奥田委員と関連するんですけども、歳出の2番コンサルタント制度ということで、先ほど、市政アドバイザーの方をメインにという話があったと思うんですけども、年間契約で支払いするのか、1回につき支払いするのか、ご説明をお願いします。

◎秘書・総合政策課長（望月裕三）

河野委員の質問にお答えします。アドバイスをいただいた1回毎にお支払いをするという予定をしております。以上です。

○委員（河野 巧）

1回毎ということなんですけども、アドバイス受けるのであれば、市政アドバイザーというのが、もともと私もボランティア的なものなのかそういった報酬が発生するのかは、ちょっと認識不足なんですけども、そうであれば、もう年間通して多分1回毎というよりは相手も大変でしょうし、年間にしなかった理由があればお知らせください。

◎秘書・総合政策課長（望月裕三）

河野委員の質問にお答えします。市政アドバイザーと、今回のコンサルタントということでありますが、市政アドバイザーの制度自体は、前市長のときにボランティア的な制度ということで、実際のところ、アドバイスをいただいても費用弁償等の支払いをさせていただいていたんですが報酬等は発生しておりませんでした。今回、予算にも計上しておりますとおり、謝礼金を準備させていただいております。というのが、アドバイザーのときは市にゆかりのある方で、ご好意にちょっと甘えていたと言ったらあれなんですけど、そういった部分もあったかというふうに考えておりました、これを正式な職務として依頼をすることで、より信頼できるようにしていき、適切なアドバイスをいただきたいというふうに考えております。

年間を通した形にはしなかったというのは、アドバイスの回数とかその事業の推進状況、施策の在り方によってやっぱり変わってくるかというふうに思っておりますので、その都度必要に応じてアドバイスをいただきたいというふうに考えておりました、個別の予算化をしております。

ます。以上です。

○委員（河野 巧）

私は年間がいいのかなと思うんですけど、年度途中なので今回は年度内、残り半年ぐらいとか9か月ぐらいとかいう形なのかもしれないですけども、ゆくゆくは、そういうのが定着すれば本当、白杵市の顧問弁護士のような形で年間通じて、多分、市長のほうを考えられてるのは、1回1回というよりは多分長期のことを考えられてるのかなと思うので、その辺は検討していただければと思うんですけど、その辺は内部ではどんな話になっているのか、1回毎でも十分だという話なのか、どうでしょう。

◎政策監（安東信二）

河野委員のご質問にお答えいたします。その都度払うのがいいか年間でということですけども、まず先ほど河野委員も言われましたように、年度途中ですので、その都度ということにしております。年間の委託料といいますか、お支払いがいいのかその都度というのは、内部の協議もありましたけれど、まずは今回これでやってみて、頻度とかそういうところを検証しまして、年間でいいのであれば、年間。このやり方がいいのかっていうのをまず初年度やってみて、当初予算までには固めたいと思っております。以上です。

○委員（河野 巧）

ありがとうございます。続きまして歳出の3番。地域振興協議会の生活支援事業補助金ということで、海辺地区が活動されていて、こういったのがありがたいと思うんですけども、多分そうなると、いろんな地区からうちもしたいという話が出てくるんじゃないかなと想定されます。そうしてくると、一般質問でも質問させてもらったんですけども、地域内の公共交通とか移動手段の確保を今後、白杵市としてどういうふうに考えてるのかというのが先にあるといいのかなと思うんですけど、その辺は担当課だけではちょっと厳しいと思うんで、政策監なり何かこう今回付けることで、今後どういったことが想定されるのか、計画があるのかご説明があればお願いします。

◎政策監（安東信二）

河野委員のご質問にお答えいたします。まず、今回の海辺地区の車の補助なんですけど、始めて2年ちょっと。しっかりと組織ができていて実績があり、きちんと機能していて、なおかつ、公共交通、タクシーとかの領域もちゃんと考えて活動しているというところもありまして、県のほうからも認められたといいますか、県の補助をという形になっています。ほかの地域が手を挙げたら全部いただけるかというところ、まずその地域の実績や組織がしっかり成り立っているのかというところは見極めないといけないと思っています。

公共交通の最終的なところは、地域内はやはり地域内で動いていただいて、幹線道路とかその辺は、公共交通機関を使ってというのが理想で、そういう試みを方針でやってはいるんですけども、なかなかそこまで困ってないですとか自家用車を使ったほうが便利です、という声も多くて、そこら辺がまだ実現には至ってないんですけど、大きな方向性としては、幹線道路

は公共交通を使って地域内は何らかの手で、例えばコミュニティセンターまで出てきてもらうという、それが理想と考えておりまして、その方向で進めているところでございます。以上です。

○委員（河野 巧）

振興協議会毎に拠点を作って、その間を今度は公共交通でという話なんですけども、そういったふうになれば1番いいのかなと思うんですが。あとは事業者さんとか、どの辺までが地域で確保できるかというのを計画を練っていただきたいなと思っています。

別の質問なんですけども、歳出の5番デジタルサイネージの設置モニター修繕料ということで、当初100万円から200万円にアップしたと思うんですけども、物価上昇とかですか。それともどの辺が修繕が必要になったのか。あと、そのときに保守契約とかそういったのはどうなっているのか、ご説明をお願いします。

◎市民生活推進課長（川辺宏一郎）

河野委員のご質問にお答えいたします。今回の100万円の追加分につきましては、現在4枚あるパネルのうち2枚が故障したものでありまして、あとの2枚は、昨年度の9月補正で上げております。その段階では75万円の要求となっておりますが、今回は物価上昇も含めまして100万円の要求となっております。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で総務・企画関係の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。暫時休憩いたします。

午前10時24分 休憩

午前10時25分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

次に、市民関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎環境課長（麻生幸誠）

（ 令和7年度 6月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（河野 巧）

歳出ナンバー2番機械借上料ですけれども、昨年11月に火災が起きまして、そのときに、市のほうで処分するというので、清掃センターのほうに量が多く持ち込まれてると思うんですけれども、リース料が発生することで、土日休みなく、職員の方が出られて分別されていると聞きましたが、その辺が解消されるのか、土日もしっかり働きながら機械をフル稼働していくのか、その辺のご説明をお願いします。

◎環境課長（麻生幸誠）

河野委員のご質問にお答えします。今の体制であります、正規職員4名、会計年度任用職員9名、あと環境グループ等も応援ということで、土日で一応2日連続出ることのないように健康とけが等のないように、それを最優先で安全第一ということで作業を進めております。

また暑い時期になりましたので、7月、8月、9月の暑い時期はちょっと作業中止しようかというように考えております。特に熱中症の対策については、暑さ指数等の計器を常に確認しながら、休憩もしくは作業中止も視野に管理をして徹底しているところであります。

機械についてなんですが、これはタイヤショベルと言います。これはブルドーザーのようなタイヤがついた機械であります。もう1台が油圧ショベルということで、これはパワーショベルのような形をしたものであります。瓦礫を広げるのにパワーショベルでそれをまた集めて最後の埋立て処分等にするときブルドーザーという2台が大変活躍します。極力、人力でする作業を少なくするのに特に効果的でありまして、作業軽減、心身の疲労の軽減に特に役立つものでありますので、今回の補正をお願いした次第です。以上であります。

○委員長（匹田 郁）

ほかにごぎいませんか。

○委員（川辺 隆）

歳出項目1番のパークゴルフ場の整備のこと。早朝オープンに関する予算が上がってるんですけれども、これ以外に白桦市としては、同じようなことを同じようなある一定の期間にパークゴルフ場の運営日を年内でお考えでしょうか。

◎環境課長（麻生幸誠）

川辺委員のご質問にお答えします。パークゴルフ場の体制としましては、昨年度より再任用職員が2名、会計年度任用職員1名のマイナス3名の体制で運営しております。なお会計年度任用職員の昨年週5回から週4回勤務ということで、体制的には大変厳しい中で、なんとか土日も含めて対応しております。

お客様で全く初めて来られたお客様にこういったようにやるんですよということで、最初ある程度レクチャーが必要かなということで、これまでは3名いた職員が丁寧に、お客様にこの道具でこういうふうに戻っていくんです、というレクチャーができたんですが、なかなかお客様が多いときはその対応ができないということで、お客様への対応を考えますと、もう1名増の体制が望ましいかなということで、若干この雇用の補正予算の余裕は見させていただいてお

ります。そういう人材を今探しておりますが、なかなか適当な人材が見つからない状態であり
ますので、考えられるものとしては、今、何とか1名を見つけたいというふうに考えておりま
す。以上であります。

○委員（川辺 隆）

体制に対するご説明は大変詳しく分かったんですけど、私が言っているのは、この1年間パ
ークゴルフ場の運営をして、行政が休みになった場合にパークゴルフ場も一緒に閉場になっ
てまして、民間の感覚で言ったら、我々が休みのときに行きたいんですけど、行ったときに開い
てないというのが実はあるんです。これがもう1シーズンあるとしたら、この夏の時期のサマ
ータイムに合わせた運営じゃなくて、冬の時期の12月28日、以降それに関してのお考えを
今ちょっと私聞きたかったんですけど、そこについてのご説明を少ししてください。

◎観光課長（麻生幸誠）

川辺委員のご質問にお答えします。年末年始の休みは、規則に基づいて行いますが、平常時
でありますと火曜日の定休日でありますので、パークゴルフ場が休みの日も職員がいます。先
ほどの芝管理の部分の作業は、定休日であっても行う必要がありますので継続して行うとい
うことあります。以上であります。

○委員長（匹田 郁）

休憩いたします。

午前10時34分 休憩

午前10時34分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

◎環境課長（麻生幸誠）

川辺委員のご質問にお答えします。正月の年末年始の休みは規則に基づいてお休みさせてい
ただきます。以上です。

○委員（川辺 隆）

パークゴルフ場の採算性を見たときに大変厳しい経営状況で、ここにおられる議員皆さんも
申し上げませんが、年間約1,500万円から2,000万円のお金がかかっている
ということは皆さん分かってるんですよ。しかしながら、今後パークゴルフ場がどうかして
自主運営ができる状態に持っていくためには、やはり市民のニーズに合った施策を、また運営
時間等をセッティングしていかないといけない。そのために、ここでは早朝のサマータイムを
導入した予算が上がっているんですよ。それに対して質問したのは、今後そういうお考えがあ
るのかということ。僕は聞いているのであって、規定で何月何日が休みというのは僕たちも分

かっています。しかしながらこの1年間運営してみた結果、市民の声の中に行政の休みに合わせて運営をしていたら、せっかく帰ってきた人たちができないではないかという意見もある。それに対してのご意見をお伺いするに、この予算以外に組む予定があるのかということをお願いいたします。お答えください。

◎環境課長（麻生幸誠）

川辺委員のご質問にお答えします。今回の夏季早朝分も市民の方、ご利用者の方の要望にお応えするというところで、予算要求をさせてもらったという背景がございます。委員ご指摘の年末年始の休みの件ですが、今後そういう要望が強まれば、開けるという体制を整えるということになるかと考えています。以上であります。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

以上で市民関係の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。暫時休憩いたします。

午前10時36分 休憩

午前10時37分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

次に、福祉保健関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎保険健康課長（川辺みさご）

（ 令和7年度 6月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎福祉課長（大戸敏雄）

（ 令和7年度 6月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（奥田富美子）

歳入の葬祭場の改修工事のところですが、当初予算でも計上されていたということなんですが、数年前に結構大規模な改修を行ったと思いますが、そのときの対象の場所だったのでしょうか。それとも、対象にならなかった場所なんのでしょうか、お願いします。

◎保険健康課長（川辺みさご）

奥田委員の質問にお答えいたします。今回新たな工事ということでお伺いしております。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにごぎいませんか。

○委員（河野 巧）

歳出の2番プログラム修正委託料のところなんですけども、当初予定してたよりも国の制度が変更になってという説明があったと思うんですけど、そういったときというのは、全部地方自治体が準備しないといけないのか、国県の支出金のほうから出るってことは特にはないんでしょうか、お願いします。

◎保険健康課長（川辺みさご）

河野委員の質問にお答えいたします。今回このシステムの標準化というところは、国のデジタル基盤改革支援基金というもので、基本的には10分の10、国の補助となっているんですが、今回対象となる事業が20事業ぐらいあるみたいで、補助額が決まっておりますので、その補助額を超えた分は市の持ち出しというふうに聞いております。以上です。

◎財務経営課長（吉良 猛）

河野委員への回答に補足をいたします。川辺課長が申し上げたとおり国の事業ですので、基本的には10分の10です。今回追加分につきましては、国も上限がありますので、上回った分については、一旦一般財源という形なんですけども、この分については交付税措置をするというふうに聞いておりますので、一応全額補填されるものというふうに考えております。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにごぎいませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で福祉保健関係の議案質疑を終わります。ご苦勞さまでした。10分間休憩いたします。

午前10時43分 休憩

午前10時51分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

次に、インフラ関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎都市デザイン課長（広瀬 隆）

（ 令和7年度 6月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（河野 巧）

昨年の火災から、市内外の方から支援金がきて、復興に向けて活動されていると思うんですけども、この連携会議で行っている内容や年内にこういったことを決定したいっていうことのプロセスについて、市民の方にお知らせする場所がどこかお考えでしょうか。要は、こちらを予算つけたとして、今後市民の方を巻き込んでいってほしいなと思うんですけども、年内に計画するのにこういうことを話し合ってますとか、そういうことを告知する場所だったり、そういった告知方法、計画がありましたらお知らせください。

◎都市デザイン課長（広瀬 隆）

河野委員のご質問にお答えします。復興連携会議につきましては、市が事務局で行っておりますのと、被災者の方、その他の関係者の方の集まりがありますので、その方等の意見を踏まえて発信する仕方等考えていきたいと思うんですけども、現在立ち上げるにあたり、マスコミの方にも連絡をとって、八町大路関係者頑張っていますよということも発信をさせていただいております。

また、節目節目でマスコミの方にはご案内をして、ある程度の発信というものは、この3回の開催の中でもやっておりますので、今後も引き続きタイミングを見計らいながら、会議の構成員の皆様と確認をしながら発信の仕方を考えていきたいというふうに思っております。

○委員（河野 巧）

マスコミの方もそうですけど、市報とか通じて何かお知らせする予定があればお願いします。

◎都市デザイン課長（広瀬 隆）

河野委員の質問にお答えします。市報等を通じても、このあたりもまたタイミングを見て、早期の復興につながる発信というものについては、検討していきたいというふうに考えております。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませつか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で、インフラ関係の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。暫時休憩いたします。

午前10時57分 休憩

午前10時58分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

次に、産業関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎産業環境課長（山木哲男）

（ 令和7年度 6月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎農林振興課長（竹尾智明）

（ 令和7年度 6月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（河野 巧）

歳出の国県支出金の部分になるんですけども、1番2番3番それぞれ物価高騰に関するものだと思うんですけど、基準とするのは、燃料高騰はいつからいつまでの基準なのか。今後、下がったときでも国のほうからの補助はこのまま出るものなんでしょうか。要するに、ガソリンが仮に安くなった場合でも国のほうから支出金は出るということによろしいでしょうか。

◎産業観光課長（山木哲男）

河野委員のご質問にお答えします。今回、歳出番号1番から3番に充当される重点支援地方交付金の件とお見受けします。3ページの歳入のところに物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、こちらから今回事業費のほうに充当されるものです。こちらは、国の施策に基づいて交付金が割られておりますので、それに基づいて産業観光課としては、こちらのほうに充当させていただいたというふうな形になります。以上でございます。

○委員（河野 巧）

歳出の5番、かんしょ広域選果場整備事業のところなんですけども、整備費においては、国が2分の1、県が4分の1、事業者が4分の1だったと思うんですけども、その4分の1のどれぐらい、臼杵市も含めて地方自治体がどれぐらいトータルで払うようになってるんでしょうか。お願いします。

◎農林振興課長（竹尾智明）

河野委員のご質問にお答えいたします。まず事業の組立てでございますけども、事業費の補助率といたしましては、国の補助率は、全体の事業費の2分の1でございます。そして、県の補助率が全体の4分の1。そして、残りが事業者の補助率ということで、4分の1というふうになっております。その4分の1につきましては、基本的にはJA大分さんが支払うというふうにご認識をしております。今回JAさんのほうからご支援いただいた部分につきましては、まず計算方法としましては、事業費から国と県の事業費を差し引いた分、4分の1。これに対して、臼杵市の生産者の負担分につきましては20分の1で、それ以外の他市町については、半分の40分の1というふうな補助割合になっております。以上でございます。

○委員（河野 巧）

40分の1ですね。そうしたときに、事業者が4分の1負担する中で、自治体が4分の1のどれほど全体でカバーするものなんですかね。ちょっと、自治体は何自治体かわからないので、4分の1、要するに約3億5,000万円かかるのであれば、そのうちの幾らが、地方自治体が負担するのかをお願いします。

◎農林振興課長（竹尾智明）

これは国庫事業分ということでよろしいのでしょうか。

○委員（河野 巧）

国庫も一般財源も含めて、多分トータルで20分の1というのは臼杵市が負担する分だと思います。ほかの関連自治体が幾つあるかちょっとわからないですけども、そうしたときに、農協さんが4分の1負担する3億5,000万円ぐらいかなと思ったんですけど、その金額は定かじゃないですけど、そうしたときに、農協さん以外の他自治体が負担する分というのがおおむね幾らなのか分かればをお願いします。

◎農林振興課長（竹尾智明）

河野委員の質問にお答えします。農協以外、JA大分以外の負担者の数でございすけども、臼杵市を含めて自治体が10自治体です。そのうち臼杵市の負担割合が20分の1。残りの9自治体、この負担割合が40分の1というふうになっております。

○委員（河野 巧）

ということは、おおむね各自治体を統合すると9,000万から1億ぐらいが補填される金額ということでよろしいでしょうか。

◎農林振興課長（竹尾智明）

河野委員の質問にお答えいたします。まず国庫事業分としては、先ほど言いました10自治体で全体の負担が約4,100万円。そして県の事業分、この分の補助額が他市町も合わせまして約571万4,000円となります。以上でございす。

○委員長（匹田 郁）

休憩いたします。

午前11時12分 休憩

午前11時14分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

◎農林振興課長（竹尾智明）

河野委員のご質問にお答えします。まず、この事業に係ります臼杵市の負担分でございす

が、全体で3,756万1,000円。白杵市以外の他市町で255万4,000円。以上で
ございます。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

（ 「なし」の声 ）

以上で産業関係の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。暫時休憩いたします。

午前11時15分 休憩

午前11時16分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

次に、教育委員会事務局の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎教育次長兼教育総務課長（佐藤 忠久）

教育次長の佐藤でございます。教育委員会事務局所管分につきまして、それぞれ担当課長が
説明いたします。

（ 令和7年度 6月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎学校教育課長（新名 敦）

（ 令和7年度 6月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎学校教育課参事（高田教一）

（ 令和7年度 6月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎社会教育課長（那賀 啓史）

（ 令和7年度 6月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎文化・文化財課長（日高 昌幸）

（ 令和7年度 6月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（河野 巧）

歳出ナンバー3番、教育振興費のところ、令和4年より水が漏れてたということなんです
けど、その都度、何か修繕はされてきたんじゃないかなと思うんですけども、結果、原因は把
握されているのか。ここをよくすればよくなるっていうのは、何か内部で検討されてるでしょ
うか、お願いします。

◎教育次長兼教育総務課長（佐藤 忠久）

河野委員のご質問にお答えいたします。西中学校のプールに関しましては、令和4年度から漏水が発覚しておりました。授業の関係がありますので、加水しながら授業していたんですけども、実はこの春の段階で、学校のほうから水がたまっていないというふうな情報がありました。現地を見に行ったところでございます。現在、西中学校のどこから漏れているというのが、把握できてないという状況になっております。実は西中学校のプールに関しましては、現在、内側をステンレスで囲うような補修工事をしていたんですけども、それでもまた漏水するということでございましたので、これにつきましては、ちょっと漏水箇所を把握するのは厳しいものがあるのかなというふうに思っておりますが、今回は取りあえずプールの授業を行うための費用として計上させてもらっているところでございます。以上であります。

○委員（河野 巧）

ここで、説明の中に事業実施回数3回予定というのは、1日を基準にして3日間ということでしょうか。それとも、各学年が3学年あって、1学年期間1回ずつの3回なのかご説明願います。

◎教育次長兼教育総務課長（佐藤 忠久）

河野委員のご質問にお答えいたします。3回授業を行うということで3回の費用であります。以上であります。

○委員（河野 巧）

ということは、最近ちょっと中学校の人数が多いのかなと思うんですけども、1学年が一遍に行くのか、1クラス毎に行って3回で。結果、何回分で車借上になっているのかご説明願います。

◎教育次長兼教育総務課長（佐藤 忠久）

ご質問にお答えいたします。今、予算計上してるのは、バス3台分を3回とバス2台分を3回ということで行っております。以上であります。

○委員（河野 巧）

どうしても、ちょっとスイミングスクールまで西中学校から近いかなというのがあって、どれぐらい自転車通学の方がいらっしゃるのかということと、以前、北中は自転車で行ってたんじゃないかなと思うんですけども、佐志生、下ノ江の方に一度ちょっと聞いたことがあって、スクールバスで北中まで行くんですけど、自転車をプールの関係で持っていかないといけないというのがあったんですけど、今はその辺が変わっているのかどうか願います。

◎教育次長兼教育総務課長（佐藤 忠久）

河野委員のご質問にお答えいたします。まず北中に関しましては、どうなってるのかということでございます。北中は、現在バスでスイミングスクールまで往復を送迎しているところでございます。それと西中学校に関しましても自転車を検討したんですけども、雨天時とか、そうして安全のことを考えたときには、バスというふうに判断させていただきました。以上でござ

います。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

（ 「なし」の声 ）

以上で教育委員会事務局の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。暫時休憩いたします。

午前11時26分 休憩

午前11時28分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

これより第43号議案 令和7年度白杵市一般会計補正予算第1号に対する討論に入ります。

（ 「なしの声」 ）

以上で討論を終わります。これより採決を行います。

第43号議案については原案のとおり可決することに、ご異議ございませんか。

（ 「異議なし」の声 ）

異議なしと認めます。よって、第43号議案については、原案のとおり可決すべきものとして決しました。以上で第43号議案についての議案審査を終わります。

以上で本委員会に付託を受けました議案の審査を終わります。

予算委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午前11時29分 閉会

白杵市議会委員会条例第30条第1項の規定により、ここに記録を作成する。

令和7年6月23日

白杵市議会

予算委員会委員長 匹田 郁